

	野市小校長室便り 第3号 R6. 9. 2 の い ち 文責：小杉 龍司	● 学校教育目標 笑顔と「ありがとう」があふれる学校 ● こんな児童にしたい ◆ 思いや考えを表現する子 ◆ 自分や友だちを大切にする子 ◆ あきらめないでがんばる子
---	---	---



猛暑の夏休みが終わり、2学期がスタートしました！

例年以上に暑かった夏休みが終わり、8月29日から2学期が始まりました。久しぶりに子どもたちの声で賑やかになった学校でしたが、台風10号の接近により、一斉下校や臨時休校など、保護者の皆様にはスタートからご心配をおかけしました。台風による被害や影響はなかったでしょうか。

さて、9月に入ったとは言え、残暑厳しい日々はもうしばらく続きそうです。これまでと同様に、学校では熱中症対策や感染対策にも留意し、2学期も子どもたちが安全で安心して過ごせるよう配慮したいと思います。

また、2学期も様々な学習活動や行事等を通して、子どもたちが自分に自信をもち、身に付けた力をさらに発揮できるよう、チーム野市小として教職員一同取り組んでいく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



夏休みの間に、中庭の改修工事がおおよそ終わりました。多目的スペースとして活用予定です。

本校卒業生、金メダリストの桜井つぐみさんが来校されました！



パリ五輪レスリング57キロ級で、見事金メダルを獲得し、本県出身では92年ぶりの快挙となった、本校卒業生桜井つぐみさんが、お忙しい中にもかかわらず野市小学校にご挨拶においでくださいました。夏休み中のため全校の子どもたちに会えなかったのは残念ですが、田園祭の準備に来てくれた6年1組の児童と教職員で出迎え、お祝いしました。子どもたちへのメッセージも頂きましたので、始業式の際、当日の動画を紹介しました。桜井さんは、小学校の時から金メダル取ることが夢だったこと、あきらめないでレスリングを頑張ったこと、努力すれば夢は叶うというお話をしてくださいました。ぜひ、この言葉が子どもたちの心に届き、自分に自信をもてるよう励みとなることを願っています。

桜井さんからは、サイン色紙とサイン入りユニフォームを学校に寄贈頂きましたので、校長室前に展示させて頂きました。また、落ち着いた頃、野市小学校の子どもたちに直接お話に来ていただけるようお願いしました。最後に、本校在校時の教頭であった谷先生のリクエストで頂いた、桜井さん作の一句をご紹介します。「夢と希望 たくさんつまった オリンピック」

【お知らせ】 すみれ2組担任の寺下美穂先生の後任として、今学期より新たに着任した高橋太一先生が担任となります。また児童支援担当として高橋和美先生が、若年サポート教員として池知大介先生（水・金のみ）が着任されました。さらに、すみれ4組担任の野田秀夫教諭が退職したため、主幹の藤原大輝教諭が担任となりましたので、お知らせします。

子どもたちの作品・活躍などを紹介します！（この他の活躍は次号にて）

ごちそうでおいわい

★香南市・野市小★

父の日に、みんなでおいわいしました。わたしは、お父さんのお手つだいをしました。お父さんは、日曜日や休みの日にばんごはんを作ってくれます。

まず、エビのからをむく作業を手つだいました。しっぽは、お父さんがむきました。からをむく作業はけっこうすきです。次に、お父さんがイカを切って、そのイカとエビをゆでて、マリネえきにつけました。カツオも切って、マリネえきにつけてれいぞうこに入れました。

ケーキはお父さんがやきました。わたしは、お母さんから「メッセージを書いたらお父さんよろこぶで」と言われたので、お手紙を書きました。お手紙を書いたら、トマトとレタスとカルパッチョを大きいおさらにもりつけました。もりつけが一番楽しかったです。ばんごはんができたならステーキもテーブルにおいて、みんなで「父の日おめでとう」といいました。

その後、わたしは、お父さんに手紙をわたしました。そしたら、お父さんが「ありがとう」と言ってくれたのでうれしかったです。ごはんもおいしかったです。

（3年、川井万智記者）

R6・7・17付こども高知新聞

はく力のあったとう牛

高橋 彩花 香南市野市小2年

家で、うわじまのとう牛を見に行きました。とてもはく力がありました。と中で牛の体の左前に、たかっていたあいの手の牛のつのがさつてちがうて、じゅういさんをぶぶごになりま

した。「だいたいじゅうぶかなあ」と、ちよつと心ばいになりました。さらに牛がさく

りました。わたくしはおどろいて、あいたはく力だと思ひました。

R6・7・19付高知新聞 声ひろば

物価高が心配です

★香南市・野市小★

じいちゃんたん生田だったの、お母さんとケーキを買いに行きました。お店に入るとお母さんが「うわあ、ケーキ高くな

の、今は一万円をこえていなかったのに、今は一万円をこえていた

の、ひつりでした。世の中どの物価が高くなっているの、この先のこと心配です。だから、そろそろデフレしヨシヨシしたいに思ひます。

（4年、湯浅暖記者）

R6・7・20付こども高知新聞

お手本は小さなカエルだ平泳ぎ

香南市野市小5年 山崎 詩月

R6・8・18付高知新聞
「レッツ！五七五」

プール開きあたらしい泳ぎにしようせんだ

香南市野市小3年 森下ほのみ

R6・7・21付高知新聞
「レッツ！五七五」

えんぴつをかえて

★香南市・野市小★

わたしは、ふでばをあげて中をのぞきこみました。あつ小さいえんぴつだ。2本もある。えんぴつをかえて、あしたからあたらしいえんぴつにがんばつてもらおうと思ひました。つぎの日、えんぴつをかえました。どつちにしようかな。よし、これにしよう。きょうもえんぴつでばんきようしよう。えんぴつをかえました。これからはえんぴつをたくさんつかいたい。

（2年、新居ひまり記者）

R6・7・31付こども高知新聞

勝つことだけではなく 西村 美澤 香南市野市小6年

クラスで、ほかほかバスケットボールをやりました。そのバスケットは勝つことだけではなく、仲良くなることを目標としたバスケットゲームでした。私は1回戦はあまり活やくができてなくて、それほど活やくしようと思ひていませんでした。でも、友達が私にパスを回してくれました。私は、そんな一人一人のために行動してくる優しいチームでよかったと思ひました。2回戦の試合が終わった時、れんたろう君がほかのチームの一人一人とあの手をしていて、仲良くていてると思ひました。

試合が終わった後の感想の時、そのチームの人たちが「負けてくやしかった」ではなく「れんたろう君が最後にあの手をしてくれて、心が温かくなった」と言っていたので、一つの優しい行動があつたら、戦つて負けたとしても優しさが広がっていくんだと思ひました。ゲームが終わった後、友達が「ぶつかつてごめん」とあやまりにきてくれました。

このクラスは1学期の初めのころは、正直思ひやがない時もあったけれど、今は一人一人のよさがあつて、本当に優しくいいクラスになれたと思ひます。また、こんなバスケットがしたいです。

R6・7・30付高知新聞 声ひろば

きびしいおねだり

★香南市・野市小★

今日、わたしと弟はプールに行きたくなりました。だから、お父さんに「プール行きたい」と言うと、お父さんが「いや。いや」と言ったので、弟とわたしはひつしたのみました。「じゃあ、なんでプールがいやなの」と聞くと、お父さんは「コンタクトをはめたいいき」と言ひました。お父さんは、目がわるいので、プールに入るにはコンタクトをつけなくてははいけないのです。

わたしたちが1時間くらいたのみつづけると、「もうえいわえ。はいはい、いっちゃあ」と言ひてくれました。その時、お母さんが「お父さんの顔はズーンとしていて、あなたたちの顔はパーとしてるね」と言ひました。

お父さんへのおねだりはきびしかったです。でも、プールはとても楽しかったです。

（3年、瀬川はる記者）

R6・8・6付こども高知新聞

R6・8・20付こども高知新聞

ぼくのがタ助

★香南市・野市小★

先週、いつものように学校に行こうとしたとき、ガレージのとびらの近くに黒い何かが動いていました。それは、クワガタムシでした。

ぼくは、こんな所になんでクワガ

タがいるんだろうと思ひたけど、ラッキーだったしかわいかったから、お母さんに「ねえねえ、お母さん、お願いだからこのクワガタをかわせて！」と言ひました。お母さんは「いいけど、めんどろはしっかり見てね」と言ひました。

ぼくは（名前はガタ助にしよう！）

と考えながらルンルンで登校しました。帰ってガタ助の様子を見ると、虫かごの中でゼリーをばく食いしてました。お風呂のように体ごとゼリーにつかっていたので、（くいしんぼうだなあ）と思ひました。お世話は大変だと思ひけど、ガタ助はやっぱりかわいいなあ。（5年、鬼木颯助記者）

R6・8・24付こども高知新聞

ほくほくおみそしる

★香南市・野市小★

今日、お母さんとおみそしるを作りました。お母さんが「なんのおみそしるを作る？」と聞いたので、ぼくは「ジャガイモ」と言ひました。ぼくが好きなおみそしるはジャガイモとワカメです。今日は、ワカメがなかったためジャガイモとあぶらあげになりました。

お母さんといっしょにほつちようできました。むずかしかったけど、ちようせんしてよかったです。おみそしるをのむむずかしかったけど、じょうずにできました。お兄ちゃんが「ジャガイモがほくほくおいしい」と言ひてくれてうれしかったです。

また、お母さんと作りたいです。（2年、井上誠大記者）